

郷土の偉人・大島有隣  
— 石門心学入門 ⑳ —

掛川の大庭梅という女性が、石門心学に相当傾倒していたことは確かです。彼女の旅日記を見ると、単に師である近藤平格の元を訪ねただけでは無いようです。平格と共に江戸見物をしたり、平格の心学道話を聴いたりもしていたことがわかるからです。

〔前略〕夫よりコウシン舎へ帰れば道話も最早前口終りて、直に近藤先生の話はじまる、お春さまも見えられ一緒に聴聞す〔後略〕

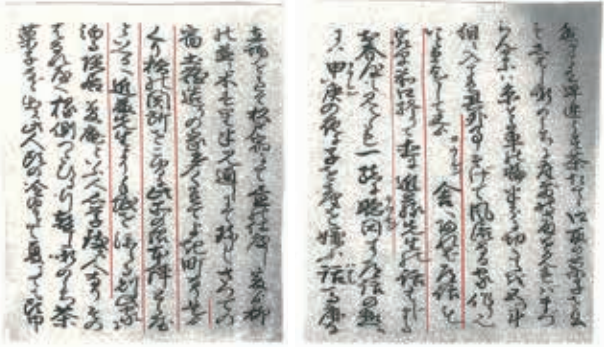
大島有隣所縁の心学講舎である盃舎へ、梅は平格と共に帰り、平格の心学道話を聴いたことがわかります。平格と大庭梅との師弟関係は、相当近いものであったのでしよう。

江戸を立ち日光へと向かう梅は、平格から手紙を託されます。その手紙の宛先は、栗橋宿の夢庵という人物であったようです。

〔前略〕是よりくり橋の関所をこゆるに、此所の脇本陣とら屋いへるへ、近藤先生より手紙を添らる、則此家に泊る、隠居夢庵といふ人、心学致ス人なり、〔後略〕

以前取り上げたように、栗橋は、心学を通じて大島有隣とも交流があったと考えられる足立十右衛門が関所番士を務めていたところ。夢庵という心学者の存在は、有隣没後も、こうした地域に石門心学が根付いていたことを物語っています。

※前口：前口上の略、若しくは落語という前座のようなものか。  
※お春：旅の連れ合い



大庭梅の「旅日記」の一部

（社会教育課 町史・文化財担当編）



杉戸町公式Xが  
スタートします



町ホームページの新着情報等の発信強化を目的に、「X（旧Twitter）」を利用した広報活動を3月1日（金）から開始します。  
公式Xでは、主に町ホームページの新着情報を発信していきます。



杉戸町ソーシャルメディア等  
アカウント一覧

- 基本情報  
アカウント名 杉戸町  
登録ID @sugito\_machi
- 主な発信内容  
町ホームページ新着情報

※X（旧Twitter）は文字数に限りがあるため、詳細情報を確認する場合は、ポスト文に掲載する杉戸町ホームページへの関連リンクをご覧ください。  
※情報発信の手段として運用するため、町のポストによる情報発信のみを行います。他のユーザーが投稿した内容についてのリポストやフォロー、返信（リプライ）は行いません。



ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町  
ホームページ



メール配信  
すきめー



広報スマホ版  
マチイロ



杉戸町  
公式LINE